

ふるさとの鼓動
北に生きる心
むすんで

こぶし

第 157 号

2023年1月1日発行

発行責任者：横井正人

編集：機関紙局

特定非営利活動法人 民族歌舞団こぶし座

北海道函館市陣川町 122-172

TEL:0138-54-2859 FAX:0138-84-8207

年 2 回発行

E-mail:kobusiza@wing.ocn.ne.jp

http://kobusiza.sakura.ne.jp/

主な内容

- ・新年のごあいさつ
- ・後半期の活動記録
- ・「支援募金'22」のお礼と現状
- ・伝言板

= 今号は都合により紙面縮小版です =

<ホームページにカラー版を掲載中!>

謹賀新年

本年もどうぞよろしくお願い致します

二〇二三年 元旦

特定非営利活動法人 (NPO 法人)

民族歌舞団こぶし座社員一同

理事長 横井正人 (座員)

理事 計良 徹 (座員)

理事 松岡智恵美 (座員)

監事 金城公雄

計良正子 (座員)

横井ひとみ (座員)

安藤良子

板垣 清

岩島 司

岡部幸人

西東英範

志賀松 晋

志賀松智恵美

橋本かおり

馬場 雅

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

長引くコロナ感染拡大の影響を受け、厳しい一年となりましたが、皆さまからの「支援募金」継続へのご協力により、何とか年を越すことができました。賜りましたご支援に心からお礼申し上げます。

昨年は、七月の「箱館奉行所」開館記念日事業での「アイヌの歌や踊り」をはじめ、新たな態勢をとり公演活動を展開させました。

三年ぶりに芸術鑑賞会が実現した小学校では、児童の弾ける明るさと楽しいリアクションに元気を貰い、恒例の行事として毎年実施してくださる保育園では、子どもたちの可愛い笑顔と幼児教育に情熱を注ぐ保育士たちの姿に励まされ、平均年齢がそれなりに(!?)上昇傾向にある「ひめこぶし+ワン」ではありますが、力を合わせ楽しい舞台を創ることができました。

コロナ禍、ウクライナ戦争、軍備拡大に大増税：政治不信と社会不安が渦巻く時世に負けることなく集団を維持し、私たちにできる表現の場を切り開いて、芸能に込められてきた「命の輝き」を発信し続けたいと願っています。

最後に、皆さまのご健康を祈念しつつ、一層のお力添えをお願いして、新年のごあいさつと致します。

座員一同



「ひめこぶし」プラス1 “ONE(7)” …仮称(!?)

【後半期の公演】

- 11/11(金) 釧路市・昭和小学校
- /14(月) しせいかん保育園
- /15(火) 菊水上町保育園
- /16(水) 桑園保育所
北の星白石保育園
- /17(木) 白石うさこ保育園

〈昨年の実施分〉

*この他、人見認定こども園と函館市アウトリーチ事業で太鼓指導も実施しています。

◆コロナ禍により延期となっていた公演も、先生や保育士、そして父母の方々の努力が実り、ようやく実現できたところなど、限られた公演とはいえ、子どもたちとの出会いに大いに励まされ勇気づけられた後半期でした。

困難を覚悟し、新しい態勢で臨んだ私たちを温かく迎えてくださった主催者の皆さんに、心からの感謝の気持ちでいっぱいです!!



「噛まれても、な〜にも痛くないヨ…。」



「ねえ…やっぱりお獅子、怖いよね!?!」



大切な僕の妹。

子どもたちの
明るい笑顔に
励まされて…

2022年度版

(後半期編)



手遊び交流…「園児たちとの真剣勝負!」(?)
この向合いは、とっても貴重な時間です!!



「すごい!キレイ〜!!」
…大きな傘に大歓声…



こんなに大勢で集えるのは3年ぶり!!



函館市アウトリーチ事業(太鼓指導)の一場面



大人気の“ヨコイ獅子”「イヨッ! マットました…。」



決めのポーズで、「ヤァー!!」

【2023年・行事予定】

- 1/02(月) 「ポールスター」獅子舞
 - /12(木) つくしの子保育園
 - /13(金) 青い鳥保育園
 - /18(水) 神山保育園
- 〈以上、函館市内〉
- /20(金) 八雲・国の子保育園

*他、「人見認定こども園」での太鼓指導(園児対象)実施予定
1/24(火), 2/21(火), 3/16(木)

『支援募金'22』…お礼と現状

昨年度に引き続き「支援募金'22」継続取組みのお願いにご協力いただき、心より感謝申し上げます。

〈支援募金の状況について〉 12月27日現在
募金総額：1,961,370円(222名)
(内訳)

- ・後援会員 1,663,370円(195名)
- ・一々ほか 298,000円(27名)

*また、心温まる「お米・野菜」などが届けられ日々の食事が元気の源になっています!



※どの会場でも、お世話になっていらっしゃるたくさんの方々にお会いできました。*今年度は「知里幸恵」の生誕百二十周年にあたります。

・12月3日 ウポボイ
「様似民族文化保存会」
「古式舞踊」鑑賞

・9月24日 登別市民会館
「知里幸恵'22フォーラム」登別
(講演・石村博子さん)

・9月10日 ウポボイ
「浦河アイヌ文化保存会」
「古式舞踊」鑑賞

◇昨年は『アイヌ神謡集』著者「知里幸恵」の没後百年。アイヌの人々が育んできた文化にふれる機会がいくつかあり、その催しに参加してきました。

伝言板